

「学力向上ポートフォリオ(小学校版)」

学力向上目標

- 基礎的・基本的な知識・技能を習得し、「確かな学力」を育成する。
 - ・当該学年で習得すべき漢字の読み書きができる。(自校テストで80%以上)
 - ・当該学年で習得すべき算数の計算ができる。(自校テストで80%以上)
- 思考力・判断力・表現力を高める。
 - ・令和3年度さいたま市学習状況調査の国語の自校テストで「読むこと」「書くこと」の正答率を、平成31年度の値より3pt向上させた値80%以上にする。
- 主体的に学習に取り組む態度を涵養する。
 - ・自校学校評価の児童アンケートにおいて、「進んで学習をしている」の項目を肯定的に答えた値を向上させる。(80%以上)

具体的な手立て

- ① 毎週、朝学習の時間において国語・算数におけるワークシートおよびドリルを活用した取り組みを行う。
- ② ミライシード内の「ドリルパーク」の学習履歴を活用することで、児童が自分の学習内容の理解を把握し、学習の進め方を自ら調整していくことができるような、個に応じた支援を行う。
- ③ 「書くこと」「読むこと」は朝学習を含め、全教科で意識的に取り入れるようにする。また「読むこと」と「書くこと」は関連性が高いので、読書量を増やすため、読書の時間を設けるとともに、学校図書館の利用回数を高める活動を行う。
- ④ ミライシード内の「オクリンク」「ムーブノート」を活用し、個々の意見を把握しやすくするとともに、児童の学習意欲を高めていく。
- ⑤ 個で考えたことを伝え合い比較・検討する、協働的な学びの場を設定する。

結果

- ・学校評価アンケートにおいて、「学校の勉強がわかる／理解している」と答えた児童、教員、保護者とも9割を超えた。基礎的・基本的な学習は概ね獲得できたといえる。また、「授業中すすんで発表している／学習に対して意欲的に取り組んでいる」と答えた児童と教員は100%、とくに「たいへんあてはまる」と答えた児童が前回65%から75%に高まった。児童の主体的に学習に取り組む態度が高まったといえる。

今年度の振り返り・次年度に向けて

- ・本格的に児童がタブレットを使用した授業を展開し始めた1年であった。学校評価アンケートにおいて、「パソコン・タブレット等を使うことが得意である／上手である」と答えた児童は8割を超え、教員と保護者からはさらに高い回答であった。次年度は家庭での使用を含め、今年度以上に扱う時間が増えると予想されるので、指導する側の教員の知識と技能を高める必要がある。